

受益者の皆さまへ

2024年11月18日

**弊社ファンドの基準価額の下落について（11月18日）**

下記公募ファンドの11月18日の基準価額は、前営業日比5%以上の下落となりました。基準価額下落となりました背景と今後の見通しについてご報告します。

**【基準価額が前営業日比5%以上下落したファンド】**

ファンド名	11月15日	11月18日	前営業日比	騰落率
世界バイオ医薬株式ファンド	11,832円	11,131円	▲701円	▲5.9%

**【為替】**

為替レート	11月15日	11月18日	前営業日比	騰落率
米ドル/円	156.8400	154.3500	▲2.4900	▲1.6%

\* 為替レートの数値・前日比は投信協会のデータに基づいて作成

**【株価】**

株式指数	11月14日	11月15日	前営業日比	騰落率
ナスダックバイオテクノロジー株指数	4,606.15	4,401.24	▲204.91	▲4.4%

**基準価額下落の背景と今後の見通し**

先週11月15日（金）の米国株式市場は続落となりました。米連邦準備理事会（FRB）高官がインフレ圧力への警戒感から利下げを慎重に判断したいとの考えを示したことや、10月の米小売売上高が前月比0.4%増と市場予想を上回る伸びをみせたことなどを背景に米長期金利が上昇したことで、株式の相対的な割高感が意識され利益確定の売りが広がりました。こうした中、当ファンドの参考指数である米ナスダックバイオテクノロジー株指数は、トランプ次期米大統領が新型コロナウイルスのワクチンに懐疑的な立場をとっているロバート・ケネディ・ジュニア氏を厚生長官に起用すると発表したことから事業環境の先行き不透明感が嫌気され、4.4%の大幅な続落となりました。また為替市場では、急速に進んだドル高・円安で政府・日銀による為替介入への警戒感が高まったことなどからドル売り・円買いの動きが出て、ドル円相場は1.6%の下落となりました。

トランプ氏が掲げる政策の不透明感や中東情勢など地政学的リスクの高まりなどを受けて、株式市場は不安定な動きが想定されます。ただ、バイオ医薬関連銘柄は新薬承認を取り巻く環境が良好であることなどがサポート材料になるとみられます。また中長期的には、高齢化や新興国の人口増と所得水準向上に伴い、人々の病気を治療したいといったニーズの高まりが継続することや、新たな基盤技術がそのニーズに応えながら巨大市場を創出していくことが期待されます。更にバイオ医薬関連株式市場では、M&Aの動きが活発です。魅力的な新薬候補や高い技術力・研究開発力を求めて大手医薬品企業がバイオ医薬関連企業を買収する動きは今後も継続すると見られ、株価にはプラス要因になると考えられます。薬価の引き下げ圧力の動向に加えて、臨床データや治験結果の発表、決算の内容などには注視が必要ですが、引き続きファンダメンタルズ分析を行い、企業価値を適切に評価してポートフォリオを構築していく方針です。

**<投資信託に関するご注意>****■ 投資信託に係わるリスクについて**

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としております。当該資産の市場における取引価格や為替レートの変動等により基準価額は影響を受けるため、損失が生じる可能性があります。したがって、金融機関の預金とは異なり元本が保証されているものではありません。

また、ファンドは預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではなく、信託財産に生じた利益および損失はすべて受益者に帰属します。第一種金融商品取引業者以外の金融機関は投資者保護基金に加入していません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」を予めあるいは同時にお渡しますので、必ず内容をご確認いただき、ご自身でご判断ください。

**■ 投資信託に係わる費用について**

①お申込時に直接ご負担いただく費用 申込み手数料： 上限 3.85%(税抜 3.50%)

②ご解約時に直接ご負担いただく費用 信託財産留保額： 0%~0.5%

③投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬： 年 1.375%（税抜き 1.25%）～2.618%（税抜き 2.38%）

（ハイウォーターマーク方式による実績報酬 22.0%（税抜き 20%）がかかるファンドもあります）

④その他費用

有価証券等の取引に伴う手数料（売買委託手数料、保管手数料等）、監査費用、

信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用等

※詳しくは各商品の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

※リスクについては一般的な投資信託を想定しています。また、費用の料率等につきましては、キャピタル アセットマネジメントが運用する投資信託のうちでの上限や範囲を示しております。投資信託に係わるリスクや費用は商品ごとに異なりますので、ご投資をされる際には、事前に「投資信託 説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

**<当資料に関するご注意>**

■本資料におけるデータ・分析等は過去の実績に基づくものであり、将来の市場環境の変動等を保証、示唆するものではありません。

■本資料はキャピタル アセットマネジメント株式会社が、信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

■本資料に記載されたキャピタル アセットマネジメント株式会社の見解や見通しは本資料作成時点のものであり、市場環境等の変化により、予告なく変更する場合があります。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者関東財務局長（金商）第 383 号

加入協会： 一般社団法人 投資信託協会

一般社団法人 日本投資顧問業協会